

令和4年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立光明の郷ケアセンター（障害者地域活動支援センター）
指定管理者	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設概要	障害者地域活動支援センター 定員10名 （自主事業：生活介護 定員20名、相談支援）
市支出額	13,000,000円

2. 事業の実施状況

サービスの利用状況	<p>令和4年度 延べ利用者数 1,059人（地活） 3,210人（生活介護） 739人（相談支援）</p> <p>1日平均利用者数 4.4人（地活） 13.6人（生活介護） 3.1人（相談支援）</p> <p>事故件数 重大事故 0件 事故件数 1件</p>
いきいきとした安心な暮らしの実現	<p>名刺の販売先の販路を事業団外にも広げていきました。紙漉の新しい商品開発にも取り組みました。</p>
専門性の高いケアを目指すための取り組み	<p>困難事例は、毎月のコンサルテーションにて継続的に報告することで次月の方向性や課題を明確にすることができ、スタッフの支援に対する不安の軽減にもなりました。疑問点はその都度コンサルに連絡を取り、事業所内だけでは行き詰まってしまうような事例も、コンサルの提案に新しい支援方法を見出すこともたびたびありました。アセスメントを細かくとることの重要性を再確認し、日々の支援に取り組みました。コロナ禍にあり対面での相談支援が困難であったが、支援者にいかに寄り添うかを考えながら電話やメール、ビデオ通話を使用しながらできる限り不安が大きくなることのないよう相談業務にあたりました。</p>

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	<p>アセスメントを丁寧にとりそれぞれのご利用者の個性を考慮しながらの支援が一定の評価を得られたものと考えています。情報の発信をもう少しスピードアップし行事の場面だけでなく、日常の切り抜きをお伝えしたいと考えています。</p>
------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	
------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	<p>日々のレクリエーションはもちろんの事、週1回拡大版レクリエーションに取り組み、ご利用者のリフレッシュに繋げました。</p>
-----------	--

4. 収支状況（事業活動明細書より 地活、生活介護、相談支援等合計）

【収入】	55,540,342円
【支出】	51,336,462円
【収支差額】	4,203,880円

5. 特別提案の状況

6. 指定管理者の自己評価

地域活動支援センターでは、長期利用がなかったご利用者や、コロナ禍で行き場をなくし再度通所されるかたもその都度受け入れ、ご利用者の話に耳を傾けました。働きながら通所されている方も多く、職場の不安をセンターで話すことで、不安の軽減につながれたと考えます。

生活介護は、コンサルテーションを継続的に受けることで、スタッフ間でのディスカッションの場面が多くなり、その結果、支援方法を共有することができご利用者の安心につながれたと考えます。生産活動において、手すき和紙から作成する封筒や葉書は、需要が激減し、新しい商品開発が急務になりました。現状に甘えることなく新しいことにチャレンジしようとする力が、ご利用者とスタッフ共に強くなってきました。

相談支援業務は、閉塞感のあるコロナ禍において、出来るだけ話に耳を傾ける支援を大切に相談業務にあたりました。例年以上に他事業所との連携が深まりました。